

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.7

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
例 会 日 毎週月曜日 12:30~
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪3F
事 務 局 東大阪市小阪本町1丁目5-14
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号
TEL: 06-6753-8823
FAX: 06-6753-8826
E-mail: jahcrc@gmail.com



会 長 岩 橋 竜 介
会 長 ノ ミ ニ 尾 崎 元
副 会 長 佐 井 義 昌
幹 事 岩 崎 史 郎
会 報 委 員 長 百 濟 洋 一

”Serve to Change Lives”

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

2021~2022 年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ

第 2165 回例会 令和 3 年 11 月 1 日 (月曜日) 第 7 号

本日の例会 11月1日(月) 第1例会

●ゲスト IM 第4組 ガバナー補佐 大谷 隆英様
ガバナー補佐エレクト 伴井 敬司様
【第2回クラブ協議会】

●ソング 『 奉仕の理想 』

●卓話 「子供の話」 担当 ; 岩崎 史郎

本日の献立 和定食

次回の例会 11月 8日(月) 第2例会

●卓話 「 未定 」

前回の例会 10月18日(月) 第3例会

●ゲスト 米山奨学生 ウジヨンフンさん

会長挨拶 会長 岩橋竜介

昨日からめっきり肌寒くなって、やっと秋らしくなってきました。暑がりの私にとってはうれしい季節です。昨日からめっきり肌寒くなって、やっと秋らしくなってきました。暑がりの私にとってはうれしい季節です。

3週間連続の例会というのは、以前は当たり前でしたが、昨年から続くコロナ禍にあっては、とても新鮮な感じを覚えているのは私だけではないと思います。こうやって毎週皆さんと顔と顔を合わせてお会いして、親睦を深められることをロータリアンとしてうれしく思います。

私は、現在常務理事を務めている大阪キリスト教短大に週に一回通勤するのですが、その際には電車を使います。朝と夕方ですから、大抵は座れませんので、ドア付近に立つのですが、以前ふと

目にしたのがありました。それは「指にご注意」と書かれたイラストです。ドアに指を挟まれないようにと注意するイラストです。何気ないものですが、なぜかその時はふと考えさせられたのです。「指にご注意」の指は、普通向こうを指している人差し指ですが、その他の三本の指は？と考えさせられました。

人に間違いを指摘したり、批判や非難をする時があります。その時、まさにこのように相手を指差すようなことをしているわけですが、その時こそ「指にご注意」ではないかと。つまり、人差し指ではなく、残りの三本の指に注意しないといけない。残りの三本は実は自分を指しているからです。「あなたが悪い！」と非難している「あなた」というのが、もしかしたら「自分」かもしれない。「あなたが変わりなさい」とその人を人差し指で指差してはいますが、それより多い三本は「自分が変わりなさい」と指摘しているのではないかと。そう考えさせられました。

自分のことは見えているようで見えていない、わかっているようでわかっていない。人を指差す時には、まさに「指にご注意」だと思わねばならないと考えさせられた次第です。お耳汚し、失礼しました。



幹事報告 幹事 岩崎 史郎

- ① 本日、11月25日（木）情報集会の回覧と、12月3日（金）地区大会の回覧を回しております。ご確認のほどよろしくお願い致します。
- ② 来週の例会は、お休みです。
次回例会は、11月1日、第2回クラブ協議会でガバナー補佐が御出席されます。

出席報告 芝池 委員

本日の会員数	19名
本日の出席者数	13名
本日の出席規定適用免除会員	6名
本日の出席率	92.85%
10月11日の修正出席率	85.71%

二コ二コ箱報告 SAA 名村 美紀

細川勝治	会員皆様がいづの日も健やかに健康でありますように!! 「感謝」
名村美紀	先日は、秦ご夫妻のバイオリン・ギターの演奏を聞いていただきましてありがとうございます。お二人とも大変喜んでました。またお願いします。

卓話担当 金子 勝信会員

「地区委員報告と50周年準備状況」

私は、地区クラブ奉仕・拡大増強委員会に出向して、3年目になります。

地区委員会での事業は、以下の通りです。

- ・クラブ運営に関するアンケート調査の実施、データベースの作成
- ・規定審議会決定事項の伝達、柔軟なクラブ運営ルールの導入模索
- ・新クラブ結成に関する支援
- ・会員増強に関する情報収集および提供
- ・会員増強方法の調査・研究 等

2660地区には現在80クラブが存在し、当クラブが所属するIM第4組は13クラブで構成されております。

私が、7月に地区委員会から、各クラブ会長・幹事・増強委員長向けにZOOM配信させて頂いた「コロナ禍でのクラブ運営についてのアンケート集計」では、このコロナ禍で最も影響を受けたのは、会員数が比較的少ないクラブが多かったと記憶しております。当クラブは、この1年間で2名減の19名の会員数となっておりますが、現在の当クラブ運営形式での損益分岐点は、会員数22名であると私が会長の時に分析しました。

当クラブの年齢別会員分布グラフから、40歳から50歳までの若手会員が少ない、他クラブでは、運営の中心となって活躍している60歳から70歳の間層がいない、会員の約半数が75歳以上であることが、課題としてあげられます。現在の年齢構成が続くと仮定すると、75歳以上の先輩方には、90歳まで会員として元気でいて頂かないとなりません。

近年、様々なクラブ形態・運営方式が模索され、認められております。例会の回数や出席についても各クラブにおいて柔軟に取り決めることができます。また会員種類の多様化により様々な方に会員となって頂けるようになってきております。

その中の1つの方式として、衛星クラブの設立があります。2660地区でも3クラブが衛星クラブを持っています。新たなRCクラブの結成には最低20名の会員さんが必要ですが、衛星クラブの会員は、8人以上で設立可能です。ローターアクトの卒業生や、今は資金力がない有望な人材を将来の親クラブ会員候補として育成可能な制度です。費用も地区人頭分担金のみの負担で済み、クラブの運用細則も親クラブと異なるように制定できるので、様々な方に会員となって頂けます。

しかしながら、衛星クラブの運営には、親クラブの負担が増えるため、比較的会員数の多いクラブ向けの制度のように思います。

以上から、当クラブにおきましても、様々な観点から会員増強方法を模索し、全会員が一丸となって、会員増強に努める必要があると思います。



